

第4章 施設管理に関するガイダンス

以下のガイダンスは、現在も進行中のCOVID-19パンデミック期間中に、キャンプ施設管理者および居住する建物や敷地の準備担当者ができるよう準備された。多くのキャンプはアウトドア活動への熱中や楽しさを通してキャンプ参加者が自らを豊かにすることを前提としているが、今回は注意深く安全に特別な手順を押さえないならぬ。

ここに挙げられたガイダンスは、キャビンあるいは多目的ホール等の使用のための単なる準備にとどまらず、アメリカ暖房冷房空調学会（ASHRAE）とアメリカ疾病予防管理センター（CDC）が発行したガイダンスに基づいている。これは建物の運営システムと検査手順、また効果的なキャンプ施設運営を確かなものにするための情報を含んでいる。以下に提示する推奨事項は、長期的な休止または運営短縮ののち建物の使用を再開するための、ASHRAEの「感染流行後の状態」に関する指導ガイダンス¹およびCDCガイダンス^{2,3}に基づいている。

キャンプ体験の多くは基本的な換気と配管の構造を利用する住居で行われることが多いので、準備し、利用を受け入れる方法は、キャンプ参加者、キャンプカウンセラー、その他のスタッフが安全な体験をする上で重要である。多くの施設は利用者の要望に応じて自然換気を用いており、それ以上の換気は現状では難しいといえる。キャンプという生活環境の中で、空気感染が発生し拡散する可能性を最小限にする必要がある。安全なキャンプ環境を保持するには、空気の移動と換気の基本原則を遵守し、メンテナンスに取り組み、そして時には創造的な取り組みを行う必要もある。キャンプ施設の機能は向上し続けており、より高度な機械システムを利用した、局地的（部屋単位）および建物全体の換気と熱的快適性の両方をもつ他の施設があり、それについてもここで説明する。

次のガイダンスは、キャンプの開始および開催を成功させるため各アクティビティをいつ行うべきかを示すタイムライン別に分かれている。もちろん、どのキャンプも同じではないということを強調しておきたい。これは指針であり、厳密な脚本ではない。また、始まりがどれほど成功したとしても、プログラムの全体的な成功を決めるのは、継続的なメンテナンスの取り組みと達成目標の継続的検証である。

¹ American Society of Heating, Ventilating, and Air Conditioning Engineers. *ASHRAE Epidemic Task Force, Building Readiness, Updated May 5, 2020.* <https://www.ashrae.org/file%20library/technical%20resources/covid-19/ashrae-building-readiness.pdf>

² U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Guidance for Reopening Buildings After Prolonged Shutdown or Reduced Operation.* <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/php/building-water-system.html>

³ U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Interim Guidance for Businesses and Employers Responding to Coronavirus Disease 2019 (COVID-19), May 2020.* <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/guidance-business-response.html>

一般的な提案

- すべてのキャンプ内の建物システムの運営と設営において役割を担う主要な個人および企業を含む、建物管理チームを編成することが望ましい。必要なサービス提供者は以下のタイプを含むが、これらに限定されない。
 - 身体的な環境をサポートし、施設の典型的運営に関するガイダンスを提供することを目的とした、**キャンプ経営者または運営者**。
 - 現在のシステムの状態と運営を確認し、システムを開始する準備ができていることを確認する、**メンテナンスマネージャおよびサポートスタッフ**。
 - このガイダンスの実施を通して見つかる可能性のある建物の機械システムの修理を行う社内スタッフを補助するために依頼できる**機械契約業者**。
 - 機械システムの制御を改良または修理する専門的なサポートを提供する**建築管理請負業者**。

開始1か月前

- すべてのキャンプ施設（給気ファン、排気ファン、シーリングファンなど）で機械システムの一覧を作り、動作状況を確認する。
- 窓とドアが開閉可能で、虫よけの網戸およびアニマルガード（動物用防御柵）が所定の位置にあることを確認する。
- 暖房、換気、冷却（HVAC）システムの一覧を作り、システムに設置した微粒子エアフィルターのタイプとMERV（最小効率レポート値）レーティングを記録する。この一覧をHVACデータと組み合わせて、必要に応じてシステムを高効率のフィルタシステムに改良する可能性を判断できる。
- デマンドベースの換気装置、エアフロー測定装置、および温度制御装置のセンサー較正を検証する。
- 現場の施設管理者が適切なスキルセットを持っていない場合、機械サービス会社と協力し、給排ファン、冷却装置、給湯器、ボイラー、ポンプなど、すべての機械システムの動作能力を点検および評価する。

開始の2週間前

- 給湯ボイラー、蒸気発生装置、熱交換器の制御と操作を点検し、通常運転時に求められる設定点と一致していることを確認する。施設内の水道システムの始動要件に関しては、各地方自治体に相談する。
- ボイラーおよび温水器の燃料源を点検し、スイッチが入っており使用可能であることを確認する。これらのデバイスを使用する前に、送気管と補給空気経路が開いていることを確認する。
- セントラル空調（HVAC）システムのプログラミングを点検し、使用前後の2時間放出する。これには、排気ファンの作動と同時に屋外のエアダンパーを開けることが含まれる。
- HVACシステムコンポーネントを点検し、正常に機能することを確認する。検査には以下の要素が含まれているべきである：

- ファンベルトは適度に伸長し、空間に十分な空気の流れができる。
- 屋外のエアダンパーおよびその他のダンパーリンケージが完全に接続され、作動可能である。
- 加熱および冷却コイルバルブおよびバルブアクチュエーターが接続され、作動可能である。
-
- ・ HVACシステムの使用スケジュールを確認し、ビルオートメーションシステム (BAS) のタイマー設定点とプログラムされた作動スケジュールを確認する。建物の現在の使用スケジュールに合わせ、必要に応じて使用スケジュールを変更する。
- ・ HVACシステムのセットバック制御が建物のシャットダウンプロトコルの一部として以前より実装されていた場合は、そのセットバックが正常に戻されていることを確認する。
- ・ タイマーが機能していることを確認し、BASの居住スケジュールが正しく設定され、オーバーライドが通常に戻されたらHVACシステムを使用中モードで少なくとも24時間作動させる。この期間中、セントラル空調 (HVAC) システムによって補修されるエリア内の温度制御とそのエリア内の換気パラメーターの傾向を表示する。BASを通した傾向が表示されない場合、換気請負業者と協力してモニタリング機器を設置するか、適切な温度と換気制御を確認するための措置を講じる。これらの測定は、空間温度および相対湿度レベルが許容可能な設定点で制御されていることを確認する必要がある。

開始1週間前

- ・ 施設内給湯器が適切な設定点で正しく作動しているか確認する。給湯器が摂氏48.8度以上に設定されていることを確認する。混合弁を装備した施設内の給湯システムでは、高温側の水温（摂氏54.4度以上）が高いとレジオネラ菌の増殖リスクをさらに減らすことができる。とはいえ、やけどをするほどの高温を防ぐために混合弁をテストする必要がある。
- ・ 空気処理ユニットおよび床ドレン内のすべてのドレンパンを点検する。下水ガスを通過させないため排水トラップが必ず濡れるよう、水を満たす。
- ・ 温水浴槽とスパを備えた施設では、シャットダウン時にレジオネラ症⁴の発生につながりかねない条件にならないよう、科学的処置によりメンテナンスされていることを確認すること。⁴

開始日の前日

- ・ 開閉可能な窓のある建物では、外気温と湿度が中程度の場合（温度範囲は 摂氏18.3度～25.5度、相対湿度は20%～75%）、すべての窓を最低4時間開ける。

⁴ U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Extended Hot Tub/Spa Closures*. <https://www.cdc.gov/healthywater/swimming/aquatics-professionals/extended-hot-tub-closures.html>

- ・ 天井設置のファンあるいは戦略的に（およびつまずきの危険を避けて安全に）設置されたフロアファンなど内部ファンを利用し、空気の循環を促進する。この準備期間中は、すべての排気ファンも作動させる。
- ・ 管理棟やヘルスセンターなどHVACシステムを利用して建物を再使用する前に外の給気ダンパーを最大許容位置まで開き、再入居の少なくとも4時間前にこの操作を行うことで、「放出」する。屋外にあるエアダンパーの最大許容位置は、屋外の気温と湿度の状況によって異なるので注意する。放出モードで操作する場合、許容可能な屋内温度および湿度条件を維持する必要がある。放出完了すると、通常設計の屋外気レベルを達成するようダンパーの位置を調整できる。
- ・ 管理オフィス、健康センター、人工換気が行われている室内には、携帯型の高効率微粒子空気（HEPA）フィルター付きの空気清浄機を設置することを検討する必要がある。こうした空気清浄機は、連続的に作動させる必要がある（24時間365日稼働）。
- ・ 使用箇所全部（例：シャワー、シンクの蛇口など）を通して温冷給水システムを洗い流す、洗浄計画を実施する。建物洗浄の目的は、建物の配管内のすべての水を新しい水に置き換えることである。

営業開始日

- ・ 開閉可能な窓のある建物では、外気温度と湿度が中程度の場合（温度範囲は摂氏18.3度～25.5度、相対湿度は20%～75%）、再使用前にすべての窓を最低3時間開ける。
- ・ 天井設置のファンあるいは戦略的に（およびつまずきの危険を避けて安全に）設置された補助のフロアファンなど内部ファンを利用し、空気の循環を促進する。この準備期間中は、すべての排気ファンも作動させる。

キャンプ開催期間中

- ・ シーズン中キャンプ施設内の良好な空気循環を保つため、HVACシステム、内部ファン、開閉可能な窓を常に使用可能な状態に維持する。
- ・ 窓とドアの開口部を利用し、一般的な換気を最大限に行うよう努める。天気、虫、または安全性のために窓を閉めたままにしなければならない場合は、排気ファンを連続で作動させる。特に窓やドアを開ける機会が限られており、全体的な換気と温度快適性を改善する必要がある場合は、補助としてフロアファンの使用を検討する。
- ・ HVACシステムを通常作動すると、屋外の換気放出モードを使用予定時間の前後2時間実施することを検討する。これには、排気ファンの作動と同時に屋外のエアダンパーを開けることが含まれる。理想的には、この放出モードはタイマーあるいはBASを通して実施できる。
- ・ 使用期間中は、HVACシステムの外気率を上げる（つまり、屋外の空気の割合を増やす）ことで屋外の換気を最適化する。供給される外気の割合は、HVACシステムの冷却能力と適切な排出空気温度の調節能力に制限され、同時に湿度も制御する。

- ・ 無人モード（少なくとも4時間連続で無人となることが予想される場合）中は、HVACシステムは最小限の外気モードで連続して作動させる必要がある。

暖房、換気、および空調システム—一般的なガイダンス

- ・ HVACシステムコンポーネントを点検し、正常に機能することを確認する。検査には以下の要素が含まれているべきである：
 - ファンベルトは適度に伸長し、空間に十分な空気の流れができる。
 - 屋外のエアダンプーおよびその他のダンパーリンケージが完全に接続され、作動可能である。
 - 加熱および冷却コイルバルブおよびバルブアクチュエーターが接続され、作動可能である。
- ・ フィルターの交換や内部の接触など空気処理装置を整備する場合、作業者は個人防護用具（PPE）の使用を考慮する。これには通常、安全メガネまたはフェイスシールドおよび手袋を使用する必要がある。
- ・ COVID-19制御のためにダクトを洗浄する必要はないが、ほかの理由で内部ダクトの洗浄を検討している場合、実施前にさらに詳しい業界のガイダンスを参照する必要がある。

HVACシステムのメンテナンスおよび専用エリア用濾過器

- ・ 健康センターまたはその他特殊なエリアでのHVAC濾過器の場合、空気処理システムのろ過レベルをMERV13以上にすることを検討する必要がある。現在の濾過器の評価と空気処理ユニットの性能情報を使って、既存のファンシステムが適切な空気の流れを維持しながら新しいフィルター-の追加圧力低下を克服できるかどうか評価できる。
- ・ HVACシステムのエアフィルターを点検し、必要に応じて新品のフィルターと交換する。エアフィルターの取り付けを点検し、フィルターが正しく取り付けられており、フィルターバンク周辺にバイパスがほとんどない、あるいはまったくないことを確認する。
- ・ 医療機関で高効率濾過器を使用できない場合、携帯型HEPAユニットを使用して継続的な再循環を実現できる。

冷暖房システム

- ・ 冷却塔を備えた施設では、レジオネラ菌発生につながりかねない条件にならないよう、科学的処置が実施され、維持されているかを確認する。
- ・ 水冷器および冷却塔の制御をチェックして、その設定点が通常運転中に必要な設定点と一致しているかを確認する。
- ・ 冷水系と冷却塔の状態をチェックし、適切な水位で作動し十分な冷却水が補給されているかを確認する。ポンプの作動と水の流れを点検する。
- ・ 直接膨張型冷却コイルを装備したHVACシステムの場合、冷媒圧力を点検し、システムが適切に充電されていることを確認する。

- ・ 温水ボイラー、蒸気発生器、熱交換器の制御と作動をチェックし、通常運転中に必要な設定点および地域の保健機関からの要件に適合した設定点となっているか確認する。燃焼器具が設置されているエリアで、地方自治体の要件に従い適切な一酸化炭素検知器が機能しているかを確認する。
- ・ ボイラーおよび温水器の燃料源を点検し、スイッチが入っており使用可能であることを確認する。これらのデバイスを使用する前に、送気管と補給空気経路が開いていることを確認する。

宿泊を伴うキャンプに関するガイダンス

キャビンにはキャンプ参加者およびスタッフ用のリビングおよび就寝スペースが設けられている。一部のキャンプ場（2段ベッドなど）では就寝密度が高くなる傾向があるので、COVID-19拡散リスクを軽減するため就寝（寝る場所等）に関するマネジメントを行うことが重要である。

住居

基本方針

- ・ プログラム全体を通してスタッフのキャビン割り当ては同じメンバーを維持し、キャビン間でスタッフを入れ替えない。
- ・ プログラム全体を通して、キャビンメンバーの名簿を作成、保管し、キャビン間でキャンプ参加者を入れ替えない。キャンプ参加者とスタッフメンバーの編成方法については「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」を参照する。
- ・ キャビンの出入りは、そのキャビンに居住している人のみに制限する。旅行者や保護者が居住スペースでの送迎時にキャビンに入らないようにする。
- ・ キャビンに入るときは、少なくとも60%のアルコールを含んだ手指消毒剤を使用するか、20秒以上かけて石けんと水で手を洗う必要がある。
- ・ 共通のアイテム（カップ、寝具など）や個人の所持品をキャビンの仲間と共有しない。
- ・ キャビンは定期的に清掃する必要がある。このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。
- ・ 必携品を加えた任意の所持品数を制限する必要がある。
- ・ キャンプ参加者は所持品を整理し、他のキャンプ参加者の所持品と分けて保管する。
- ・ **ポイント**：キャンプ参加者に、所持品を収納するための収納スペース（収納ケース、小型トランクなど）を用意する。

配置

- ・ 入口に少なくとも60%のアルコールを含んでいる手指消毒剤のディスペンサーを設置するか、到着してすぐ参加者に石けんと水で手を洗ってもらう。
- ・ アメリカ疾病予防管理センター（CDC）、世界保健機関（WHO）、その他医療機関からの関連するポスターおよび貼り紙を人の出入りが多いキャビンに掲示し、病気の拡散を減らす行動を奨励する。
 - COVID-19情報
 - 手洗い
 - 咳エチケット
 - COVID-19に関連する症状
 - ウイルス拡散の防止
 - フィジカル・ディスタンシング

バスルーム（トイレ付きの浴室および更衣スペース）

- ・ 共通するトイレ用品（タオル、石けん、歯磨き粉など）を共有しない。キャンプ中、洗面用品と保管容器を持参するようキャンプ参加者に指示する（例えば、洗面用トートバッグや、名札を付けた1リットル程度の透明なビニール袋など）。
- ・ キャンプ参加者は自分の所持品を袋およびトートバッグに入れて保管し、袋およびトートバッグを指定の場所に保管する。
- ・ 石けん、トイレトーパー、ペーパータオルは常にバスルームに保管しておく。
- ・ 時間をずらした入浴スケジュールを作成し、施設を一度に使用する人数を制限する。
- ・ ごみ箱を（足で作動するフタ付きまたフタなし）トイレの出口近くに置き、ごみを簡単に廃棄できるようにする。
- ・ CDCの手洗いガイドをバスルームに掲示し、キャンプ参加者とスタッフにいつ、どのように手を洗うかを注意喚起する。

宿泊

- ・ 可能なら、ベッドの間隔を少なくとも1.8m確保する。密な配置（下記参照）で寝る場合、ベッドの間隔を1.2m確保することが好ましい。
- ・ 可能であれば共用スペースを寝室に変え、1部屋で眠る人々の数を最小限にする。
- ・ 互いのつま先が向き合う配置にすれば、互いの頭部/顔の位置をできるだけ遠ざけることができる。
 - － 2段ベッドの場合、上の段で就寝する参加者の頭部の位置と下の段で就寝する参加者の頭部の位置を、逆向きにする。
 - － 横並びのベッドの場合、参加者の頭部の位置を隣接する寝台の参加者の頭部と反対側に配置する。
 - － 縦に連結したベッドの場合、各キャンプ参加者のつま先を他の参加者のつま先の近くに配置する。
- ・ **ポイント**：特に1.8mの距離を確保できない場合、カーテン、シーツ、パーティションなどを使用して物理的な障壁を作成する。
- ・ 乾燥機付き洗濯機で洗濯および乾燥できる寝具（例：シーツ、枕、毛布、寝袋など）を使用する。各キャンプ参加者の寝具は分離しておく。
- ・ 各キャンプ参加者の名札をベッドに貼る。
- ・ 子どもの肌に触れる寝具は毎週、あるいは別の子どもが使用する前に洗浄する必要がある。「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」の「洗濯」手順を参照する。
- ・ **最善策**：別々に分類したケース、収納ボックス、または袋に余分な寝具を保管する。

換気

- ・ 換気量の増加：
 - － 天候が許せば窓を開けたままにしておくことで自然に換気する、または

- 暖房、換気、空調（HVAC）システム、室内およびバスルームの排気ファン、扇風機などを作動させるなどして人工的に換気する
- 人工的な換気が実施されている就寝スペースの滞在時間中は、HVACシステムを外気率が高くなるように作動して、屋外からの換気を最適化（つまり、屋外の空気の割合を増加）する。供給される外気の割合は、HVACシステムの冷却能力と適切な排出空気温度に調節する能力に制限されており、同時に湿度も制御される。健康センターあるいは隔離された人が滞在する寝室では、携帯型HEPA空気清浄機の使用を考慮する必要がある。

参照先および資料

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Open Child Care Programs*. <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/guidance-for-childcare.html>

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *H1N1 Flu*. <https://www.cdc.gov/h1n1flu/camp.htm>

NYC Health. *COVID-19: Guidance for Congregate Settings*. <https://www1.nyc.gov/assets/doh/downloads/pdf/imm/guidance-for-congregate-settings-covid19.pdf>

Multnomah County. *COVID-19 Guidance for Shelter Settings*. <https://multco.us/novel-coronavirus-covid-19/covid-19-guidance-shelter-settings>

American Society of Heating, Ventilating, and Air Conditioning Engineers. ASHRAE Epidemic Task Force, Building Readiness, Updated May 5, 2020. <https://www.ashrae.org/file%20library/technical%20resources/covid-19/ashrae-building-readiness.pdf>

遊水施設の運営に関するガイダンス

SARSコロナウイルス2（SARS-CoV2）は、水媒介性ではない。COVID-19がプール、風呂、スパ、または水遊び場の水を通して人々に拡散されるという現時点の証拠はない。プールや関連施設の適切な運営とメンテナンスを行うなら、水中でウイルスを不活性化できる可能性が高くなる。アメリカ疾病予防管理センター（CDC）は、「飲料水、レクリエーション用水、または廃水を通じてCOVID-19に感染したことを示す証拠はない。

COVID-19が水を介して感染するリスクは低いと予想される」と述べている。ただし、湖や池などのレクリエーションエリアで安全なフィジカル・ディスタンスに従い、適切な衛生習慣を続けることが重要である。

すべての水関連のレクリエーションエリアは、以下の点を考慮する必要がある：

- ・ CDC、世界保健機関（WHO）、その他認定された健康関連組織からのガイダンスを組み込んだ関連ポスターおよび貼り紙を、対象となる利用者の目に入る適切な場所に準備し、掲示する。例：
 - COVID-19情報
 - 手洗い
 - 咳エチケット
 - COVID-19に関連する症状
 - ウイルス拡散を阻止するための習慣
 - フィジカル・ディスタンス
- ・ 施設や水辺に出入りする前に、キャンプ参加者やスタッフが適切な手の衛生管理を行っているか確認する：
 - アクティビティの前後に、20秒間石けんと水で手を洗うようキャンプ参加者に指示する、または
 - アクティビティの前後に、少なくとも60%のアルコールを含む手指消毒剤を用意する。
- ・ キャンプ参加者の安全を守るため、適切なスタッフを確保する。フィジカル・ディスタンスを維持する努力は、既存のキャンプの安全手順（例：応急処置、心肺蘇生、1対1の交流など）には影響しない。
 - 具体的な対策：少人数グループでアクティビティに参加する。キャンプのロッカールームや更衣室、水辺エリアやプール施設に入るのを待つ間に、身体的な間隔を1.8m間隔に保つ。
 - **ポイント**：グループとアクティビティにおいてフィジカル・ディスタンスを守ることに加え、このガイドの「第7章 アクティビティに関するガイダンス」と「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」に記載されているガイダンスを組み込む。
- ・ 施設（例：ライフガードスタンド、手すりなど）全体の頻繁に接触する箇所の日

常的な清掃および消毒を、米国環境保護庁の消毒剤のNリストに沿って毎日行う。¹

清掃と消毒の手順は、本ガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」に記載されている手順に従う。

- 共有する備品および器具（例：キックボード：ビート板、救命装置、プールヌードル：浮き棒など）を洗浄および消毒する。多孔質（布など、通水性のある素材）および非多孔質（石、金属、プラスチックなど通水性のないもの）素材の洗浄および消毒の手順については、このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。また、該当するメーカーの推奨事項に従う。
 - 具体的な対策：可能であれば、共有する備品は効果的に清掃できる品目に限定する必要がある。
 - 次善策**：キャンプ期間中、可能であれば各参加者に本人専用の備品（例：キックボード：ビート板、フォームチューブなど）を用意して、水関連のアクティビティと救命対策のため共有する備品の量を制限する。
- 遊水施設運営においては、州および地域のガイドラインに従う。自分の状況に関して、水泳における健康ガイドラインを参考にする。²

プール

CDCの指摘によると、プールの適切な運営、メンテナンス、および消毒はCOVID-19の原因となるウイルスを不活性化する可能性がある。プールおよび遊泳エリアは、以下の手順に加え、本ガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」に記載されている手順に従い、適切に清掃および消毒する必要がある。

- 適切な消毒レベル（遊離塩素1-10ppmまたは臭素3-8ppm）およびpH（7.2-8）を維持する。
- 毎日、あるいは週単位で、殺菌性衝撃処理をプールで実施する。
- プールの運営とメンテナンスに関する地域の規制に従う。
- 公衆プールでの疾病および負傷を防ぐための推奨事項について、CDCの「モデルアクアティックヘルスコード」を参照する。

湖および池

COVID-19がプールや水辺の水を通して人々に感染するという現時点の証拠はない。自然の水源においては、上記および本ガイドの「第7章 アクティビティに関するガイダンス」と「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」で説明されている適切なフィジカル・ディスタンスと良い衛生管理に従うことが最良である。

- 最善策**：水辺での活動や要件についてCOVID-19に関するCDC、WHOおよび健康関連組織の情報を確認する。

¹ U.S. Environmental Protection Agency. *List N: Disinfectants for Use Against SARS-CoV-2*. <https://www.epa.gov/pesticide-registration/list-n-disinfectants-use-against-sars-cov-2>

² U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *State-based Healthy Swimming Information*. <https://www.cdc.gov/healthywater/swimming/states.html>

更衣室とシャワー

多くの遊水施設ではプールや水に入る前に、シャワーを浴びる必要がある。シャワー設備の適切な清掃と消毒に加え、長期間閉鎖する場合や大幅に使用者が減少した後は、よどんだ水のレジオネラ菌の増殖リスクが高まる可能性があるため、十分に注意すること。長期間閉鎖した場合のリスクを最小限に抑えるため、以下の手順を実行すること：

- ・ 上記および本ガイドの「第7章 アクティビティに関するガイダンス」と「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」に記載されている適切なフィジカル・ディスタンスと良い衛生管理に従う。
- ・ 使用箇所全部（例：シャワー、シンクの蛇口など）を通して温冷給水システムを洗い流す、洗浄計画を実施する。建物洗浄の目的は、建物の配管内のすべての水を新しい水に置き換えることである。通常の放出は、使用率が低い初期段階で考慮する必要がある。

個人用の救命具

- ・ ライフジャケットとも呼ばれる個人用救命具をキャンプ参加者で共有したり、共通の場所に保管したりする場合、使用後に適切に洗浄するため以下の手順に従う。
 - 具体的な対策：アクティビティごとの共有備品および器具の量を制限する。ライフジャケットは高温の石けん水で手洗いする。アルコール系消毒スプレーをライフジャケットに吹き付け、空気乾燥させる。
 - **次善策**：ライフジャケットは高温の石けん水で手洗いする。乾燥機を使用して、摂氏60度を超えないように温度設定し完全に乾燥させる。使用前に、ライフジャケットにアルコール系消毒スプレーをかける。
 - **最善策**：キャンプ期間中は特定の器具（例：ライフジャケットなど）を参加者それぞれに割り振り、共有する器具の数を減らす。
 - **最善策**：使用後は毎回、このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒」と「第7章 アクティビティに関するガイダンス」の指示に従い、個人用救命具を清掃・消毒する必要がある。ロープやライフジャケットに漂白剤を使用しない。
- ・ 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」で説明されている調整とともに、標準的な運営手順に従う必要がある。

水泳

- ・ キャンプ参加者はグループ/小集団ごとにフィジカル・ディスタンスを保ち、プールやその他屋外の水遊び場（例：湖、池など）に出入りする前後、適切な手の衛生管理を行う必要がある。
- ・ 水泳アクティビティ中は、以下の対策を推奨する：
 - **ポイント**：自由に泳ぐために、各参加者が常に一緒にいる「仲間」を割り当てる水泳のボディシステムのような安全な水泳の習慣を続ける。割り当てられた仲間が同じ集団内にいることを確認する。水泳を安全に行うため、安全訓練に参加する必要がある。

- **ポイント**：往復する場合は、スイミングプールのコース幅を2.4m間隔に設置し、互いの間隔を維持しながら交代で泳ぐ。
- **ポイント**：キャンプカウンセラーとして、参加者の各グループに毎回同じインストラクターを割り振る。このガイドの「第3章 感染拡大防止に関するガイダンス」のガイドラインを参照する。
- ・ 安全手順は、このガイドの「**安全性**（56-57ページ）」で説明されている調整とともに、標準的な運営手順に従う必要がある。

参照先および資料

ASHRAE. *Epidemic Task Force: Building Readiness*. American Society of Heating, Refrigeration, and Air-Conditioning Engineers. [://www.ashrae.org/file%20library/technical%20resources/covid-19/ashrae-building-readiness.pdf](http://www.ashrae.org/file%20library/technical%20resources/covid-19/ashrae-building-readiness.pdf) Updated May 5, 2020.

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Considerations for Aquatic Venues*. <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/parks-rec/aquatic-venues.html>

The Swim Guide. *COVID-19 and Recreational Water Quality*. <https://www.theswimguide.org/2020/03/30/covid-19-and-recreational-water-quality/>

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Healthy Swimming, Aquatic Professionals*. <https://www.cdc.gov/healthywater/swimming/aquatics-professionals/index.html>

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Healthy Swimming, Operating Public Pools*. <https://www.cdc.gov/healthywater/swimming/aquatics-professionals/operating-public-swimming-pools.html>